



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所

平成24年9月4日

お知らせ

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

ラオスの研修生が、道路維持管理技術を学びます。 ～ラオスの道路維持管理能力強化のため 国土交通省の技術を伝えます～

国土交通省山口河川国道事務所では、ラオス人民民主共和国(通称・ラオス)の「道路維持管理能力強化プロジェクト」の一貫として、ラオスからの5名の研修生に幹線道路の維持管理に係わる組織体制、民間委託契約と監理について下記のとおり研修を行います。

●講義

日時：平成24年9月5日(水) 9:00～16:00
場所：山口県庁本館棟4F共用第三会議室
山口県山口市滝町1番1号
内容：幹線道路の維持管理体制
日常維持管理における民間委託契約と監理の実際
講師：山口河川国道事務所 道路管理第二課長 山田 晋吾

●現場

日時：平成24年9月7日(金) 9:30～16:30
場所：9:00～10:00 山口河川国道事務所 防府国道維持出張所
10:00～11:00 山口河川国道事務所 防府山系砂防推進室
防府市勝坂地内 砂防事業箇所
13:00～13:30 岩国玖珂地内 災害復旧現場
14:00～14:30 新寿橋架替工事現場
説明者：岩国国道維持出張所長 長谷川 要 はせがわ かなめ

※撮影は、全ての時間可能です。

5日は講義後に、職員や研修生の取材が可能です。

7日は、新寿橋架替工事現場見学は、14時頃から取材可能です。

※雨天決行。

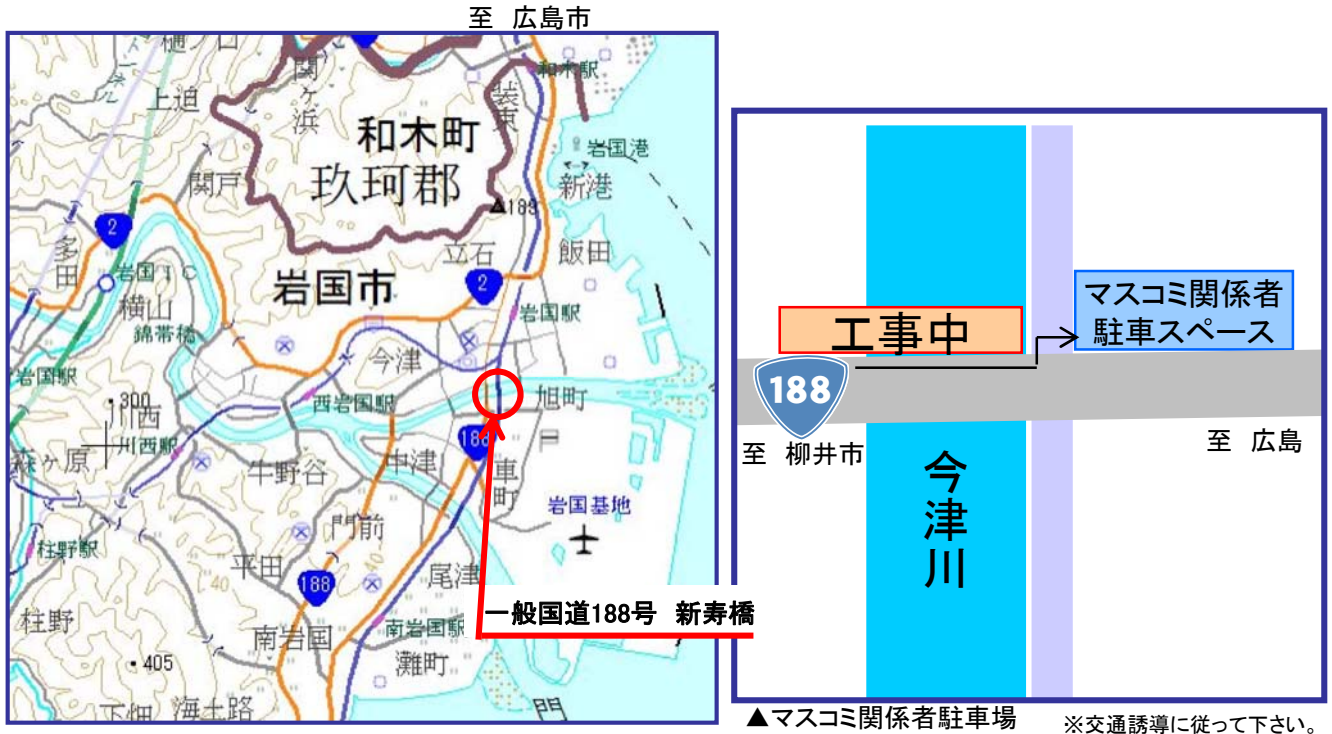
※報道関係者のご説明は、道路管理第二課長が行います。

[問い合わせ先]

○国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所
副所長 松村 守(まつむら まもる)
(担当) 道路管理第二課長 山田 晋吾(やまだ しんご)
電話番号 (0835)22-1856

山口河川国道事務所ホームページアドレス
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

■新寿橋架替現場案内



▲マスコミ関係者駐車場 ※交通誘導に従って下さい。

▲位置図 至 柳井市



▲現場見学箇所(新寿橋) 至 柳井



至 広島

ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト・研修概要

ラオスとは

ラオス人民民主共和国、通称ラオスは東南アジアに位置する共和制国家です。国土面積は 236,800 平方km(日本の本州より少し大きいくらい)です。内陸国にあり、海はありません。北に中国、西にミャンマー、東にベトナム、南にカンボジア、タイと国境を接しています。人口は約 650 万人、60%が仏教徒です。言語はラオ語(タイ語にも似ています)。主な産業は農業と鉱業、観光業になります。首都はメコン川沿いに位置するヴィエンチャンで、ラオス北部には世界遺産に指定されているルアンプラバンという街があります。

プロジェクトについて

ラオスは内陸国という地理的特性もあり、隣接国との交通や、貨物輸送を道路に頼っています。現在は国道の約 55%がアスファルト等の舗装が施されています。

ラオス政府は既存道路の効率的な維持管理の必要性を強く認識し、他国からの支援を受け、公共事業運輸省(日本で言う所の国土交通省)の制度・体制構築や道路維持管理システムの改善を急務としてきました。

しかしながら、予算不足に加え、職員の道路・橋梁の維持管理技術も十分とは言えず、約 30%の舗装済み国道が「劣化」の状態であると評価しています。

この主な原因の 1 つに維持管理現場における職員の技術レベルに課題があり、このような背景からラオス政府は日本政府に技術支援を目的としたプロジェクトの実施を要請し、独立行政法人・国際協力機構(JICA)のもと、2011年9月～2016年9月まで「道路維持管理能力強化プロジェクト」が実施されることとなりました。このプロジェクトでは、ラオス側が効率的な維持管理を行っていくための計画策定、日常維持管理能力の強化支援を目的としています。その一環として、今回 5 名のラオス政府の技術職員を招いて日本の道路維持管理に関する研修を受け、日本の技術・手法を習得する事になりました。

山口県は日本国内有数の道路維持管理技術があることから、講義や現地見学を交え 9 月 4 日～9 月 8 日まで研修生が山口を訪問する予定です。



研修について

(1) 研修工程 : 期間 2012 年 9 月 1 日～15 日

日	研修場所	宿泊先
1 土	ビエンチャン出発	機中
2 日	東京着	東京
3 月	IDCJ / OC	東京
4 火	移動(東京→山口)	山口
5 水	終日: 山口県道路建設課・山口河川国道事務所合同講義	山口
6 木	AM: 山口県警・交通情報センター(見学) PM: : 山口県道路建設課(見学)	山口
7 金	終日: 見学(山口河川国道事務所出張所) ホームステイ	山口 (ホームステイ)
8 土	AM: 移動(山口→東京)	東京
9 日		東京
10 月	国土交通省 (MLIT)	東京
11 火	AM: 移動(東京→つくば) PM: 国土技術政策総合研究所	つくば
12 水	AM: 土木研究所講義 PM: 土木研究所内施設見学	つくば
13 木	AM: 移動(つくば→東京) PM: OC	東京
14 金	IDCJ	東京
15 土	東京発 ビエンチャン着	ビエンチャン

*IDCJ: 国際開発センター、OC: オリエンタルコンサルタンツ

(2) 研修生

ラオスからの研修生: 計 5 名

名前	所属機関	国籍	性別	年齢	言語
Mr. Phitsaphonh Philavong (ピットサホン・ピラヴァン)	公共事業運輸省、道路局	ラオス	男性	41	ラオ語 英語
Mr. Sengmany Thammavong (センマニー・タムヴァン)	ビエンチャン県公共事業運輸局、 道路課	ラオス	男性	34	ラオ語 英語
Mr. Souvanh Sengchamphone (スワン・センチャンフォン)	カハナケート県公共事業運輸局、 道路課	ラオス	男性	45	ラオ語 英語
Mr. Vongsack Malivanh (ヴァンサック・マリヴァン)	公共事業運輸研究所	ラオス	男性	45	ラオ語 英語
Mr. Sisomphone Southammavong (シソフォン・ソウサマヴァン)	公共事業運輸訓練センター	ラオス	男性	46	ラオ語 英語